

第3学年 総合的な学習の時間（人権）学習指導案

1 主題名 支え合って生きる

2 主題設定の理由（一部省略）

1学期には、地域の高齢者の方から茶摘みやお茶作りを教わった。ほとんどの児童が初めての経験で、茶の木がどんなものか、茶を蒸したときの色の変化や蒸した葉をもむ大変さに驚き、感動していた。「〇〇さんに早くつむ方法を教わった」と、高齢者の知恵や地域に対する思い、自分たちへの温かいまなざしを感じ取っていたように思われる。後日、感謝の気持ちを伝えようと話し合い体育館でお礼の会を行った。「茶摘みの歌」「手遊び」「なぞなぞ」「飾りつけ」を自分たちで主体的に考え、グループで協力しながら準備し、当日は多くの保護者の参加も得て、楽しい時間を共に過ごし、児童は大きな達成感をもつことができた。また茶摘みを教えていただいた方からは「久しぶりに小さい子どもさんと過ごせてうれしかった」等とても喜んでいただけた。

道徳の時間には、「おばあさんときれいな歩道」をとおし、朝早くから歩道を掃除するおばあさんの思いを想像し、役割演技によって、歩道がいつもきれいな理由を知った男の子の心情を考えた。さらに、これまでの生活の中で身近な人や高齢者からお世話になったことを発表し、感謝の気持ちをもつことができた。

2学期には、長年竹細工作りに携わっている方の伝統の技や思いを学んだ。また、デイサービスセンターとの交流では、自分たちで考えたゲームや劇などでふれあい、買い物サポートをとおし、高齢者の方の願いや思いを少し知ることができた。さらに高齢者擬似体験をとおし、加齢による体の変化を体感しながら、高齢者の気持ちに共感できるような心を育てたいと考え、学習を進めてきた。

本時の学習では、買い物サポートで、安心できた高齢者の気持ちに共感し、高齢者に対する温かい接し方を考えさせたい。

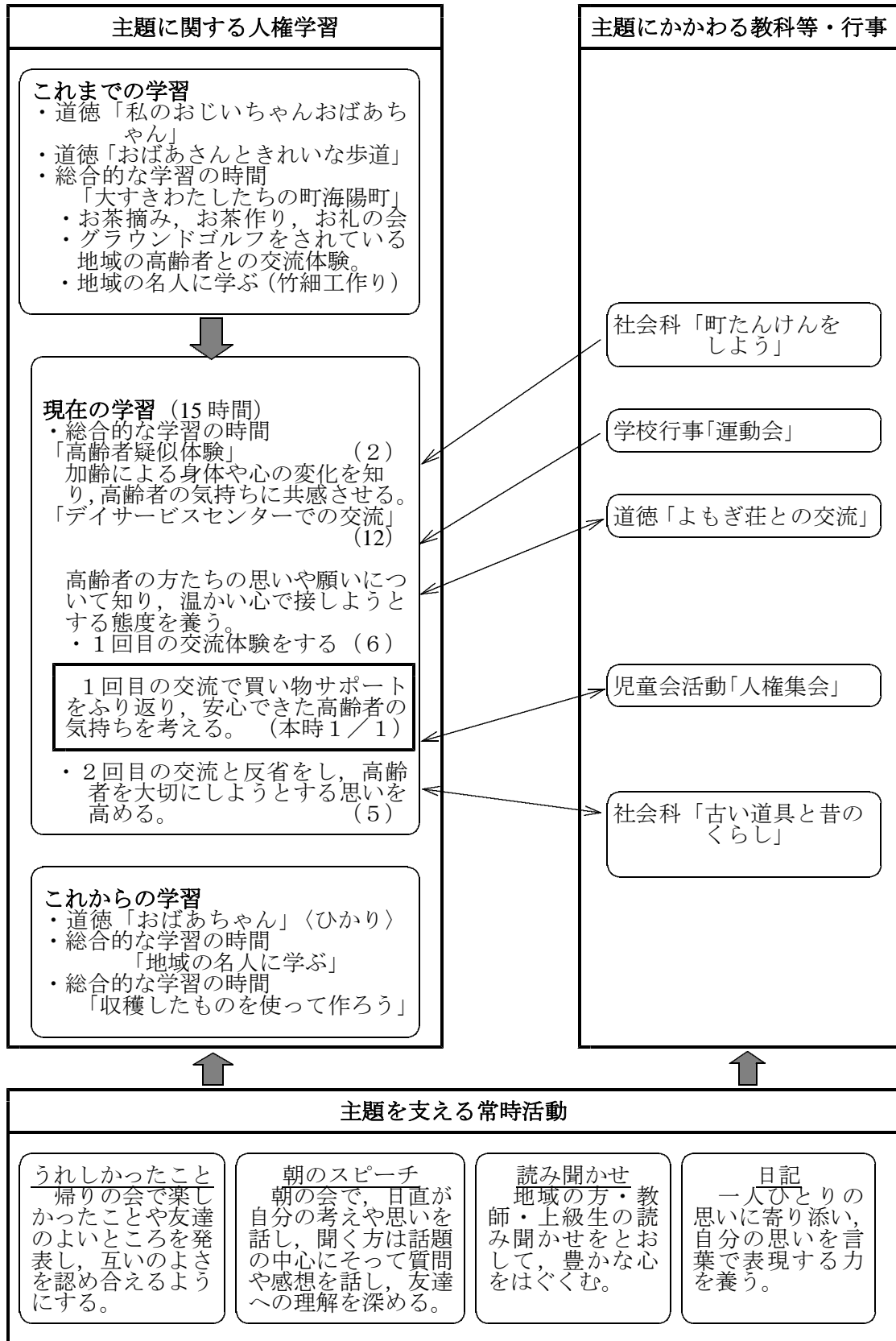
児童は多くの人たちの支えのもとで生活しているが、高齢者の方たちの思いや願い、困っていることなどには十分気づいていないと思われる。高齢者の方と交流する機会を多くもち、共に学び合うことをとおして、より多くの高齢者の生き方にふれ、願いに共感し、互いを認め合い、自分も周りの人も大切に、よりよい人間関係づくりをめざそうとする児童を育成しようと思い、本主題を設定した。

3 ねらい

体験をとおして高齢者に対する理解を深め、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てる。

4 指導計画

「支え合って生きる」



5 本時の学習

(1) 目標

1回目の交流で買い物サポートをした学習をふり返り、安心して買い物ができる高齢者の気持ちを考える中で、温かい気持ちで接しようとする態度を養う。

(2) 普遍的な学習のテーマ 「個人の尊重」

個別人権課題名 「高齢者」

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 買い物サポートをふり返り、学習課題を設定する。	○ ワークシートを見て、感想を発表させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">みなさん、よろこんで買い物のできたのだろうか。</div>	
2 高齢者が買い物の時に、不安な理由を話し合う。	○ 高齢者擬似体験や、これまでの交流を思い出させる。
3 安心して買い物のできた理由を話し合う。	○ 根拠がはっきり分かるように説明させる。 ○ 自分と友達の意見を比べながら聞くよう指示する。
4 デイサービスセンターの利用者や職員の思いや願いを聞き、感想を発表する。	○ デイサービスセンターの利用者や職員から、買い物の感想や思い・願いを聞いておく。
5 これから高齢者に対して、どのような行動ができるか話し合う。	○ 特に考えさせたい児童に、意図的な指名や言葉かけをとおして、深く考えさせたい。
6 本時のまとめとこれからの学習について話を聞く。	○ これからの学習に関心や意欲がもてるよう見とおしをもたせる。

(4) 評価

【知識的側面】

地域の高齢者の思いや願いに気づくことができたか。

【価値的・態度的側面】

進んで、高齢者に対して温かい接し方を考えようとしていたか。

【技能的側面】

友達の考えを聞いたり、自分の思いを話したりできたか。